

# やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2019 **7**  
令和元年 7月25日発行  
No.105

やまのべ  
議会だより

2019年7月号 VOL.105



勝ちのほり  
とったぞ〜

6月定例会	2
議会報告会「未来を話す会」	4
町政のここはどうする？ 一般質問	6
あなたの声をお聞かせください	14

写真／山辺小学校大運動会  
(関連記事 14ページ)

発行／山形県山辺町議会  
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



町ホームページで  
議会中継を  
発信中!!

●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷株式会社

## あなたの声をお聞かせください

女性消防隊の皆さん

子どものための「防災紙しばい」もやっています。どこかで会えるかもね!

皆さんに消防団の活動をもっと見てほしいなあ。

女性ならではの目線で、身近なことに取り組んでいます。

高齢者の一人暮らしのお宅にもおじやましていきます。

とくに大変な活動をしているわけではないんです。

私たちと一緒に活動してみませんか?

山形沖地震で、あらためて家具の固定の大切さを感じました。

防災について勉強中です。私たちと一緒に学び、輪を広げませんか。自分のためになるよ!

## 私たちは女性消防隊の活動を応援しています

### 表紙の説明



大寺小学校と統合して初めての運動会が5月25日、真っ青に澄み渡った青空の下で行われました。

各競技に勝ったチームにはそれぞれ「勝ちのぼり」が与えられます。勝ち取った代表の子どもたちが「勝ちのぼり」とつたぞ〜と陣地に帰っていくと、チームも全員が大きな歓声をあげて迎えます。校長先生も満面の笑顔で子どもたちを見送っていました。

それぞれの学校の良いところが相乗効果となり、新たな学校の歴史を刻んでいってほしいと思います。

### 編集後記

9回目を迎えた議会報告会は、参加者の皆さまとしっかり意見交換できたことが一番の成果です。これにいかにか町政に反映していくかが大事な課題です。

特に令和の町づくりは少子高齢社会が進む中、若者世代の支援にも力をいれてまいります。

今後も議会として、皆さまのお声に耳を傾け安心な暮らしを実現するためご指導・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

本田 四志子 記

- 発行責任者
- 議長 齋藤 邦彦
- 広報常任委員会
- 委員長 遠藤 真由美
- 副委員長 本田 四志子
- 委員 本藤 昭彦
- 委員 齊藤 昭彦
- 委員 神保 昭彦
- 委員 渡邊 裕二
- 委員 伊藤 恭子

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



### 定例会のあらまし

第2回定例会が6月5日から6月7日までの3日間の会期で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。  
町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定など6件、基金条例の制定2件、令和元年度一般会計補正予算などの議案を審議し、全会一致ならびに起立多数でいずれも可決されました。

### 主な条例の制定

・山辺温泉保養センターの設置および管理に関する条例の一部改正

原油価格の高騰により燃料費および光熱水費の上昇や大規模改修から13年余り経過し、施設の修繕費の増加ならびに人口減少、近隣温泉施設への利用者の分散化などにより入浴料金、部屋利用料金を改定。

大人入浴料

現行3000円から3500円

小学生入浴料

現行1000円から1500円

入浴割引回数券

現行3000円(12枚)から3500円(13枚)

これに伴い、大広間、個室、第1会議室、第2会議室、第3会議室の利用料金も改定。

◆入浴料金および部屋利用料金は上限額です。

・町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

働き方改革を推進するため、人事院規則及び県人事委員会規則の一部改正に伴い、町職員の時間外勤務に上限を設ける。

・町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

教職員の働き方改革推進事業の一環として、非常勤特別職として部活動指導員を任用し、報酬額を定める。

・町公共施設等再生整備基金条例の制定

柔軟性のある持続可能な自治体の構築に向け、公共施設などの老朽化などに対応した基金を設置する。

・町森林環境譲与税基金条例の制定

森林の整備および促進のために、森林環境譲与税を財源とする基金を設置する。

・町災害弔慰金の支給および災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正

法律の一部改正に伴い、利率、保証人、償還方法などの条例の一部を改正する。

・町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正

省令が公布されたことに伴い、条例の一部を改正する。

・町介護保険条例の一部改正

消費税率の引上げに合わせて、低所得者の保険料軽減強化の完全実施に伴い、介護保険料率の軽減を図る。

# 山辺温泉保養センター 入浴料金、部屋利用料金が9月より改定

令和元年度 一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ2848万円を追加し、**総額53億3021万円**に

### 主な補正内容

子ども子育て総合事業 942万円の増額

・幼児教育無償化への対応に伴うシステム改修委託など

予防事業 406万円の増額

・風しんの追加的対策に係る抗体検査委託など

商業振興事業 1551万円の増額

・消費税率引上げに伴う対応に係るプレミアム付商品券事業のシステムの改修委託費など  
・町商業団体が実施するプレミアム付共通商品券事業への補助など



仮園舎で元気に遊ぶ子どもたち



「泉質が良い」と評判の山辺温泉



解体が待たれる旧山辺中学校



地区民参加の林道整備(白坂林道)



# 未来を話す会

## 第9回議会 報告会



ご参加いただき  
ありがとうございました

9回目となる議会報告会を6月1日(土)、中央公民館で開催しました。  
今回も3つのグループに分かれ、参加者と議員が膝を突き合わせてじっくりと話し合いました。  
農作業やさくらんぼの忙しい時期で参加人数は少なかつたものの、参加者全員のお声を聴くことができました。  
いただいたご意見は、今後のまちづくりに活かしていきます。

### 観光について

- Q.** 山辺町の良い所をピックアップしたパンフレットを自由に持って行ける場所や、町外の人を案内してくれる観光ボランティアはいるのか。
- A.** 町内を案内する観光ボランティアは常駐していませんが、パンフレットを置く観光案内所「すだまり」が「あがらっしやい」に併設となり、資料館とも連携しながらより良い運営を目指しています。
- Q.** 70歳以上への健康支援であるはずの「やまのべ温泉入浴券」が今年度、無償から自己負担2,000円となった。財政難は分かるが、負担額はもう少し段階を踏んでも良かったのでは。
- A.** これまでは希望者に配布していましたが、希望者も配布者の利用率も3割程度と減少していました。近隣市町を調査したところ、無料配布は当町だけであったことなどから事業見直しを行いました。



### その他

- Q.** 大寺小学校跡地の今後は。
- A.** 現在、改築中のゆりかご幼稚園が来年3月まで借用しています。町では、地区の皆さまとも話し合っていく方向です。
- Q.** 議会報告会の開催を知らせるために、車のスピーカーで案内するなどしたらどうか。
- A.** 参加者を増やすために、今後検討していきます。

### 意見

- ※財政が厳しいと言うが、マイナスではなく良い方向に行くよう、議会も提案、チェックして欲しい。財源の確保についても考えて欲しい。
- ※町内で就職できたり、起業したいなど夢を持った若者を育てて欲しい。
- ※町は文化全般について意識が低いのではないかと。安達峰一郎博士の功績や、また畑谷城は全国日本山城30選の1つに選ばれており毎年数千人が訪れている。「ごへい宿」も含め、もっとPRも整備も必要だ。
- ※公共事業の入札について、町内の業者がもっと参入できるようにして欲しい。
- ※町民プールで水泳連盟の公式競泳が出来ないのは残念だ。
- ※町所有のマイクロバスを、ブロック協議会で年に1回でも借りたい。
- ※空き家対策をもっと具体的に進めて欲しい。

### 子育てについて

- Q.** 子育ては重要な課題だが「認定こども園への支援」とは。
- A.** 今年4月から認定こども園となったやまべ幼稚園では、1~2歳児15名の保育がスタートしています。また、来年4月に認定こども園への移行を予定しているゆりかご幼稚園への支援です。



### 道路について

- Q.** 山辺駅前十字路から前小路を通り新町に抜ける国道458号は、大型トラックやダンプが多く通って危険だ。事故が起きる前に進入禁止看板などの設置はできないか。
- A.** 現在のところ通行規制はできませんが、現場調査依頼などを行いながら、関係機関と対策を考えていきます。
- Q.** 町民体育館が指定管理になったが、それに伴いシルバー人材センターの雇用が減っている。
- A.** 議会では就労機会の確保を要望しています。良い方向にいくよう、関係各所と話し合っていきます。
- Q.** 山形~山辺線は平成31年度中に完成するのか。
- A.** 現在は沈下のおさまっていない箇所を工事中です。農道や水路との連結工事は夏季にはできず、冬季の工事となるため、車道だけでも今年度末までに終了したいとの説明でした。

**社会問題**

# いま、問題になっている事件・事故、わが町の現状と対策は

(町長) 事故防止活動「こんにちは作戦」として、交通安全の訪問活動を行っている



質問席

鍋倉 竹志

**答弁**

子どもに対する事例は、平成30

**質問**

子どもや高齢者に対する家庭や施設内での虐待事例は、

**答弁**

平成30年の当町での高齢運転者の交通事故は13件で、高齢者の負傷者は18人であった。事故防止活動として、山形警察署交通安全協会役員、交通安全母の会および町が一体となり、町内の全世帯について「こんにちは作戦」として交通安全の訪問活動や、高齢者を対象とした交通安全教室などを行っている。

**質問**

高齢者交通事故の事例と事故減少を図るための対策は、

年度、家庭内における虐待で10件あり、そのうち4件は終結している。高齢者に対する事例は、平成30年度では施設内での虐待の報告はなかったが、家庭内での虐待で、警察より2件の報告があったので、家族に対し訪問を行い対処したところ、大事には至らず経過を注視している状況である。



高齢者の交通事故防止を！

**質問**

現在、町内の学校でいじめ問題などの事例は、

**答弁**

平成30年度における本町のいじめの認知件数は、小学校で333件、中学校で23件であった。いじめの解消状況については、「解消した」が小学校で329件、中学校で16件となっている。

各学校においては、担任などにより事実を確認し、丁寧に対応して、ほとんどのケースが、当事者間ですぐに解決できるものであった。

**答弁**

過去3年間の山辺町民の免許返納者数は、平成28年24人、平成29年44人、平成30年49人となっている。自主的に返納された方への支援事業として、返納者の申請に基づき「やまのベコミュニティバス無料乗車券」を発行しており、最長2年間利用可能となっている。

**質問**

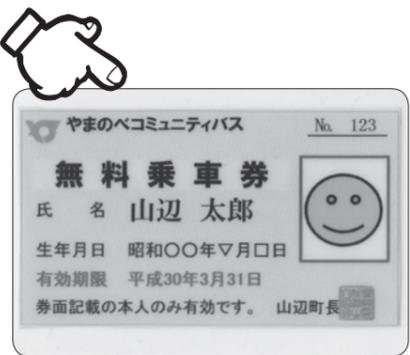
高齢者交通事故の減少を図るため、運転免許証の自主返納をしやすい対策は、

**答弁**

河北町では、免許証自主返納した人に町民バス無料定期券を1年更新で生涯無料としているようだが、コミュニティバスの効率の良い運行をするためにも、当町では自主返納者ばかりでなく、その家族や一定の年齢に達した高齢者に対して無償化する考えは、

**質問**

河北町では、免許証自主返納した人に町民バス無料定期券を1年更新で生涯無料としているようだが、コミュニティバスの効率の良い運行をするためにも、当町では自主返納者ばかりでなく、その家族や一定の年齢に達した高齢者に対して無償化する考えは、



免許証を自主返納した人への無料乗車券 (見本)



## 町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



傍聴しませんか 次回の定例会は9月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

6月の定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

- 鍋倉 竹志** **社会問題** いま、問題になっている事件・事故、わが町の現状と対策は
- 安達 春彦** **いじめ問題** 孤独にさせないいじめ問題への取り組みは
- 神保 稔** **高齢者支援** 高齢者の生きがいづくりは
- 武田啓一郎** **森林保全** 収益の伴わない共有林維持管理に町の連携支援を
- 斉藤 昭彦** **有効活用** ①旧大寺小学校の跡地は ②浸水深電柱標記の設置は

町ホームページで  
議会中継を  
発信中!!

※一般質問は一問一答方式ですが、誌面の関係で主な質問と答弁を掲載しています。

# 高齢者の生きがいがづくりは

(町長) 免許証返納者への支援、敬老会への補助について、見直し検討していきたい



神保 稔

**質問** 「生涯現役社会」の実現をめざして、町としても会員の確保、就業機会の拡大につながるよう支援していく。さらに、連絡

**質問** 高齢者の就業の場の確保とシルバー人材センターへのさらなる支援は。

**質問** 過去3年間の交付件数は50件、支援などのあり方については、近隣市町との状況を勘案しながら検討していく。

**質問** 最長2年間のコミュニティバス無料乗車券を交付しているが、申請時から2年間の交付さらには一定の年齢到達者に一律交付できないか。

**質問** 子どもと高齢者などの世代間交流事業の実施状況と今後の促進計画は。



高齢者による公園の環境整備

**質問** 各校では、毎年介護老人福祉施設への訪問をはじめ祖父母学級や特色を活かした高齢者とのふれあい事業を実施している。今後、引き続き多くの機会を捉えながら取り組んでいく。

**質問** また、町社会福祉協議会では「※地域食堂」を開催し30年度は5回で高齢者が90人、子ども約40人の参加があった。今年度も適時開催の予定である。



高齢者と子どものふれあい交流

**質問** 次年度以降の米寿などの賀詞の伝達は。

**質問** 敬老会の開催状況と今後の経費の見直しは。

**質問** 今年度米寿を迎える方は125名で、百歳を超える方は17名となる見込みである。2017年の日本人の平均寿命は男81・09歳、女87・26歳で、多くの方が該当する点も踏まえ、米寿の賀詞伝達については次年度から廃止の方向で考えている。

※地域食堂・高齢者と子どもが食事や遊びを通じてふれあいを伝えるとともに、生きがいを伝えることにも寄与するが目的。

# 孤独にさせないいじめ問題への取り組みは

(町長) 町のいじめ防止基本方針にのっとり、全町挙げていじめ問題に取り組んでいきたい



安達 春彦

**質問** 一昨年に、平成29年度から開催を目指す答弁にあった「山辺町いじめ問題対策連絡協議会」と「山辺町いじめ問題専門委員会」の開催結果は。

**質問** いじめ防止のための関係機関による啓発活動の促進に関する内容や取り組みについて情報交換を行った。その他「ネットいじめ防止の提言案」などについても協議された。

**質問** 「ネットいじめ」における山辺町の実態はどのように把握しているのか。

**質問** 学校内でアンケートを取って入学説明会時に



生徒たちによる主体的ないじめ防止活動を推進

**質問** 子どもたち自身によるいじめ防止活動が学校に根付く

**質問** 保護者には説明しているが、毎年中学1年生の間でトラブルが発生している。

**質問** 山辺中学校生徒会では、「愛宕ネットワーク宣言推奨」(宣言)として各4項目を決め、生徒全員でインターネット上のいじめ防止に取り組んでいる。また、各学年の道徳の教科書にいじめをテーマにした教

材があり、体験的に学び、子どもたち自身に考えさせる機会が多く取り入れられている。

**質問** 現在の山辺町の実態と取り組みから、今後の解決すべき課題と対策について方針をどのように考えているのか。

**質問** いじめ認知件数が増加したことにより慎重かつ丁寧な対応が一層求められるようになったこと、アンケートに書けない子どもの声をいかに拾い

**質問** 各県でLINEを使った相談窓口を設けた効果を出している。日常的に使われるインターネットツールを利用した環境づくりはできないか。

**質問** 山辺町独自に行うかは調査研究していく必要がある。



ネットいじめを防ぎ SNS で相談しやすい環境を

有効活用

# 旧大寺小学校の跡地は

(町長) 地元の皆さまの声を聞き、検討していく



齊藤 昭彦

**質問** この4月より山辺小学校に統合になった旧大寺小学校の校舎の今後については、今まで通り緊急避難所として活用できるのか。

**回答** 本年6月より来年3月31日まで10カ月間、町内の幼稚園へ貸付けるようになった。旧校舎が有効に活用される事は喜ばしい限りだ。

なお、災害時の避難所は町が指定している「指定避難所」は全体で26施設、その内、県立山辺高等学校や民間施設などの協定施設を除くと小・中学校体育館や公民館など17施設。旧大寺小学校についても、体育館およびグラウンドを指定避難所として、大寺地区はもちろんのこと、災害が広範囲におよんだ場合には、山形市の一部住民も含む広域避難所としても位置づけられている。

現在、旧校舎の一部を当該幼稚園に貸付けている状況であるが、大寺地区の重要な避難施設となることから、「緊急避難場所」としての位置づけは変えず

**質問** 管理を考えている。現在旧大寺小学校校舎をステージ脇を備蓄倉庫として整備し、毛布100枚、簡易トイレ700回分、投光器1基、組立式簡易水槽1基、ストープ7台、その他テーブルやパイプイスなどを配備しているの

**回答** 現在、旧校舎の一部を当該幼稚園に貸付けている状況であるが、大寺地区の重要な避難施設となることから、「緊急避難場所」としての位置づけは変えず



旧大寺小学校校舎体育館ステージ脇の備蓄倉庫

なお、幼稚園による使用期間満了後における旧校舎を含めた跡地の活用方法は、地域の皆さまの声を傾けて「町公有財産等有効活用検討委員会」で十分検討を進める。



整備が急がれる 一級河川 小鶴沢川

◆須川および小鶴沢川の洪水浸水想定区域図は、県や町のホームページで公開されています。

森林保全

# 収益の伴わない共有林 維持管理に町の連携支援を

(町長) 森林環境譲与税を有効活用していく



武田啓一郎

**質問** 森と湖沼のふるさとファッションの町やまのべ。その森が、泣いている。人々の暮らしを支えてきた旧村あるいは大字持の共有林は、歴史的な生活の変化や経済的価値の役を終え、将来的維持管理の是非を問われている。集落古来の共有林や地域に移譲された旧村有林などの実態はどうなのか。

**回答** 現在の所有形態などさまざまであり、公有林は別として、実態すべての把握は難しい。見る限り、手入れされない山林が多く見られる。日本国籍外の方が買ったという情報はない。



愛宕裏(西方)の大字大寺持の共有林(約19.5ha)の状況検分

**質問** 町内産の杉の用材の商業的価値はどの程度か。将来的に山辺の森の価値、用材の価値を高める手立てを、どう考えるのか。

**回答** 百年杉で一千万円、五十年杉で千円とも聞き及んでいる。町内の方が、町内の木材で住宅を建てる場合、補助することなども考えてみたい。

**質問** 収益の伴わない共有林を管理している団体組織は、固定資産税の納税資金の確保に苦慮している。貴重な財源となつて

**回答** 地方税法で定める減免、当町の条例、要綱の減免規定に照らしても、現時点では該当項目が無いなど税の公平性が損なわれることがないように、慎重に検討していくべきものと考えている。

**質問** 新たな森林環境譲与税などを活用した共有林の再生、活用策に対する町の連携支援の考え方と、どのような内容か。

**回答** 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため創設された「新たな森林経営管理制度」の取り組みとして「集落共有林を含む民有林を取り巻く諸問題に対応するため、森林環境譲与税を有効活用していく」。

まずは、所有者の意向調査、意見交換から始める。



倒木や笹雑木が生い茂り、全面通行止めの町道上野相沢線

**質問** 土砂崩落で道路が封鎖された愛宕裏の町道が、全面通行止めになったままで、かつて定期バスが通つたとは思えないほど荒廃している。倒木が道を塞ぎ、山林火災でも発生したら緊急車両も進入できない。沿線の共有林にも、車では行けない。手立てを講じるべきでは。

**回答** 倒木の処理については、連絡をもらえば実施する。通行止め後、火災は発生していない。山の管理者は歩いて通れるようにしているため、現状維持とする。

**質問** 小鶴沢川の県による氾濫解析の見直しはあったのか。

**回答** 本年3月の氾濫解析の見直しにより、想定浸水区域および、想定浸水深は変わったが、水位などによる避難判断基準に変更はない。避難勧告など発令されたら、速やかに避難行動をとってほしい。

**質問** 浸水深電柱標記の設置は

**回答** 須川沿線である近江・三河尻地区に昨年度、電柱に国土交通省のハザードマップ浸水深が電柱標記されたが、設置されていない大門地区はどのように考えているのか。

**回答** 大門地区は地域自主防災組織が8組織で構成されているが、事業実施には各自防災組織の協力体制と地域住民の相互理解が必要になつてくる。

町としても実施に向け、国土交通省に要望し、地域自主防災組織に働きかけを行つてい

### 大規模災害時、議員はどう動くか 総務文教常任委員会

2月14日の東京セミナーを受け、山辺町議会の「災害時初動マニュアル」を見直しました。そして新たに令和元年6月1日、『山辺町議会災害対策会議設置要綱』および『災害時対応マニュアル』を策定しました。

主な内容として

- ・災害により、山辺町災害対策本部が設置された場合、これと連携するため議会災害対策会議を設置することができる。
- ・災害の初期においては、各々の地域の自主防災会の活動や、人命救助などの救援活動に積極的に参加する。
- ・災害に関する各種情報を収集整理し、議員と町本部で連携を図る。
- ・町本部や関係機関に対し、優先順位を付けて要望提言を行う。
- ・必要に応じて臨時議会を招集請求し、災害対策や復旧・復興に関する予算審議や特別委員会の設置などを行う。
- ・町本部を取り決め、さらに常日頃より災害に備えた準備や訓練に努めていきたいと思えます。

大きな災害がどこにでも起こりうる昨今、みんなが自助・共助に取り組み、山辺町はきっと『災害に強い町』になるはずですよ。



自主防災会の活動 (近江)

### ふるさとを思い

新しい元号「令和」を迎えて6月23日、55名の参加で東京山辺会総会が盛大に開催されました。稲村三夫会長ご挨拶と副町長の祝辞の後、懇親会では山辺会連合会の皆さまと、持参したさくらんぼなどを囲んで、ふるさとのお話と町出身の歌姫「シユガーシスターズ」の歌声で会場は一体となって大いに盛り上がりました。

あつという間に時間が過ぎていき、最後は名残惜しみながらも、笑顔で集合写真を撮影。またお会いすること誓って、散会となりました。



来年も元気に会いましょう

### 東京山辺会

### 平成31年度認定こども園スタート 厚生産業常任委員会

委員と議員有志は4月22日、認定こども園に移行したやまべ幼稚園を視察しました。園では1・2歳児が保育士さんたちと楽しい時間を過ごしており、昼食の様子と調理室を見学し、全体の説明を受けてきました。

やまべ幼稚園では、1歳から就学前の子どもの健やかな育ちのため、保護者の就労にに応じて質の高い保育支援をスタートしました。

幼稚園部門(1号認定)・・・満3歳以上で教育認定を受けたお子さん

保育部門(2号認定)・・・満3歳以上で保育を必要とするお子さん

〃 (3号認定)・・・満3歳未満で保育を必要とするお子さん

※家庭の都合に応じて延長保育の利用ができません。

町の宝である子どもたちの成長を願い、日々充実した生活を見守りたいと思います。



「1・2歳児保育室」視察

### 議会報の目的は、何か 町村議会広報研修会

議会報は、自治体や議会活動の関心度を高め、住民参加を促す役目が非常に強いものです。そのため紙面づくりや、内容の編集方法を学びました。

今回の議会広報クリニックでは11町議会の中で、当町の「議会だより」が先生より「編集の中身が良い」、「見出しの付け方、レイアウトが良い」との評価を受けました。今後とも、誰もが読みやすい紙面を作っていきます。



「伝わる」紙面づくりを学ぶ！

### 議会行政視察 (新潟県 村上市・胎内市)

#### 「行財政改革について学ぶ」 5月7日 村上市役所

村上市は平成20年に1市2町2村が合併した、新潟県内において最も広い市です。人口は当初約7万人でしたが、現在は6万人弱と人口減少・高齢化に歯止めがかからず、協働の町づくりを推進。合併後10年間で市役所職員の約380名が退職することを把握し、職員体制のスリム化を目指した行財政改革でした。

改革の内容は ①組織機構の見直し ②適正な定員の管理 ③補助金、負担金制度の見直し ④事務事業の見直し ⑤指定管理者制度の活用 の5点で、これらは平成22年に行政改革推進委員会のプロジェクトを立ち上げ、市民に意見を求めて実施。その内容をホームページで公表し、適正管理に努めていました。

このうち特に、3年毎に全ての補助金が適正かを見直す取り組みは、当議会でも検討すべき事項と感じました。補助金交付の根拠や目的を明確にし、地域・団体・市民に分かりやすく、公平性・公正性・透明性のある統一した規定を持つて検証を行うことが重要だと学んだ研修でした。



村上市役所にて

#### 大企業の施設跡を活用した 日本初の農業大学 5月8日 食料農業大学胎内キャンパス

食料農業大学胎内キャンパスは、大企業の跡地・施設跡を活用して開設したキャンパスで、食料・農業・ビジネスの3分野を包括的に学べる日本初の大学です。食と農に関する高度な専門の話を学部長より講義いただきました。

食料農業大学は①サイエンス・テクノロジー・ビジネスを一体的に学ぶ ②フードチェーン「食のつながりを学ぶ」 ③マーケットと連携して実践力を身に付ける ④地域、産業と連携して実践力を身に付ける ⑤一人ひとりの学生にきめ細かなサポート体制と5つの特色があり、3分野を幅広く科学的に学べる素晴らしい大学です。

当町の農業従事者も高齢化しており、このような大学で若い世代が生産から販売まで「新しい農業」を学ぶことは、明るい未来へつながっていくと思えます。山辺町からも大いに世界をリードする学生が現れることを期待します。

町の遊休施設など、今後の利活用について参考となる研修でした。



食の可〈農〉性を追求する農業大学

### イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 第40回 山形大花火大会	山形市須川河畔 反田橋付近	8月14日 (水)	山形の夏の風物詩。今年のテーマは「輪～歴史とご縁をかさねがさね～」約2万発の花火が打ち上げられ、夜空を彩ります。	山形大花火大会 実行委員会 Tel. 023-632-8665
上市市 第49回 かみのやま 温泉全国かかし祭	市民公園 (市役所東側)	9月14日(土) ~9月23日 (月・祝)	昔ながらのかかしのほか、世相を反映したかかしなどが会場に並びます。期間中には、「国際下駄飛ばし選手権大会」もお楽しみいただけます。	上市市観光物産協会 Tel. 023-672-0839
中山町 第12回 元祖芋煮会in中山	最上川中山緑地 (せせらぎ公園)	9月28日 (土)	芋煮会発祥の地である中山町で開催されます。アユの掴み取りやしずくちゃんマルシェ同時開催により出店も多数立ち並びます。	中山町観光協会事務局 Tel. 023-662-2114